

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年2月12日

上場会社名 チエル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3933 URL https://www.chieru.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川居 睦  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 若松 洋雄 (TEL) 03-6712-9721  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,787	28.4	260	—	251	630.6	163	—
2020年3月期第3四半期	2,171	102.8	14	—	34	—	14	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 163百万円(993.3%) 2020年3月期第3四半期 14百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	21.14	21.08
2020年3月期第3四半期	1.92	1.90

(注) 当社は2020年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,476	1,785	39.9
2020年3月期	3,031	1,632	53.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,785百万円 2020年3月期 1,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は2020年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の配当については、当該株式分割前の配当金を記載しております。2021年3月期(予想)の期末配当金及び年間配当金を仮に当該株式分割前に換算しますと5円00銭となります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,160	30.5	500	106.7	500	113.3	350	126.8	45.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は2020年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	7,851,000株	2020年3月期	7,802,400株
2021年3月期3Q	90,926株	2020年3月期	90,882株
2021年3月期3Q	7,727,954株	2020年3月期3Q	7,675,756株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、厳しい状況が続いております。政府の緊急事態宣言が解除された後も、内外需の落ち込みは企業収益を急速に減少させ、国内外各地の感染状況とそれが消費者マインドに与える影響によっては、景気をさらに下振れさせるリスクをはらんでいます。

学校教育を取り巻く環境においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受けております。主に小中市場においては、児童生徒向けの1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備が行われる政府主導の「GIGAスクール構想」が前倒しされ、整備が加速しています。また、大学市場においては小中高で通常授業が再開された後も、オンライン授業もしくはオンデマンドでの授業形態が継続しており、オンライン・オンデマンドへの学校としての対応が急務となっております。進路市場においては、徐々に回復傾向にあるものの、大型イベントが制限される等、未だ不透明な状況です。

このような市場動向のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,787,283千円（前年同期比28.4%増）、営業利益は260,831千円（前年同期は14,165千円）、経常利益は251,966千円（前年同期比630.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163,370千円（前年同期は14,775千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

#### ①学習部門

学習部門においては、小中市場でGIGAスクール構想における「児童生徒1人1台端末の整備」事業の入札が本格化しており、ChromeOSを選定した自治体において、運用管理システム「InterCLASS Console Support」や、フィルタリングツール「InterCLASS Filtering Service」の受注が大きく伸びました。これらの受注額は、利用期間に応じて来年度以降の売上にも分割計上される見込みです。一方で、高大市場では新型コロナウイルス感染対策の影響により設備の大型リプレース案件が順延傾向にあり、受注が減少しました。オンライン授業対応製品についても来年度以降の採用検討が多く、結果、売上高は698,463千円（前年同期比9.9%減）、セグメント利益は140,418千円（前年同期比5.5%減）となりました。

#### ②進路部門

進路部門においては、対象事業を営む株式会社昭栄広報の決算時期が異なるため、第3四半期会計期間は7月から9月にあたります。一回目の緊急事態宣言の解除後、各高校では進学相談会を夏休み期間に実施するなど進路指導のフォローに注力する傾向にあり、例年は案件が少ない時期に売上を伸ばしました。一方で、新サービス『高校生へのキモチ。』への先行投資がかさんだこともあり、売上高は666,837千円（前年同期比11.5%増）、セグメント損失は92,615千円（前年同期はセグメント損失8,127千円）となりました。

なお、株式会社昭栄広報の業績は、前第3四半期累計期間には4月1日から9月30日までの6カ月間を計上しているのに対し、当第3四半期累計期間は1月1日から9月30日までの9カ月間を計上しております。

#### ③情報基盤部門

情報基盤部門においては、GIGAスクール構想の「校内通信ネットワークの整備」事業により、無線LAN最適化ソリューション「Tbridge」が各自治体の仕様に採用されるケースが増え、受注が急速に拡大しました。次世代アプライアンス「ezContainer」等も堅調に推移し、売上高は1,421,983千円（前年同期比78.2%増）、セグメント利益は495,112千円（前年同期比95.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、4,476,941千円（前連結会計年度末は3,031,414千円）となり、1,445,527千円増加しました。これは主に現金及び預金の増加900,502千円、売掛金の増加335,889千円及び商品の増加89,944千円によるものです。

負債の額は、2,691,184千円（前連結会計年度末は1,399,103千円）となり、1,292,080千円増加しました。これは主に、前受金の増加1,153,363千円及び買掛金の増加70,593千円によるものです。

純資産の額は、1,785,757千円（前連結会計年度末は1,632,311千円）となり、153,446千円増加しました。これは主に利益剰余金の増加147,898千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績見通しにつきましては、本日（2021年2月12日）開示いたしました「通期業績予想の上方修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,182,057	2,082,560
売掛金	697,872	1,033,761
商品	49,426	139,371
仕掛品	7,926	1,460
貯蔵品	3,264	5,973
その他	169,872	237,097
貸倒引当金	△12,468	△7,942
流動資産合計	2,097,950	3,492,282
固定資産		
有形固定資産	42,980	58,870
無形固定資産		
ソフトウェア	246,903	236,769
ソフトウェア仮勘定	34,018	41,689
のれん	128,453	114,847
その他	23,000	18,500
無形固定資産合計	432,375	411,806
投資その他の資産	458,108	513,981
固定資産合計	933,464	984,659
資産合計	3,031,414	4,476,941

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	136,694	207,288
短期借入金	11,004	—
未払法人税等	47,602	116,933
前受金	567,917	1,721,281
賞与引当金	40,068	75,001
役員賞与引当金	9,190	5,501
その他	184,976	182,657
流動負債合計	997,453	2,308,663
固定負債		
長期借入金	7,852	—
退職給付に係る負債	284,066	—
役員退職慰労引当金	42,817	—
長期未払金	63,854	379,460
その他	3,060	3,060
固定負債合計	401,649	382,520
負債合計	1,399,103	2,691,184
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	332,098	335,122
資本剰余金	121,412	124,436
利益剰余金	1,245,974	1,393,872
自己株式	△67,905	△67,964
株主資本合計	1,631,578	1,785,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418	—
その他の包括利益累計額合計	418	—
新株予約権	313	291
純資産合計	1,632,311	1,785,757
負債純資産合計	3,031,414	4,476,941

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	2,171,190	2,787,283
売上原価	961,219	1,220,467
売上総利益	1,209,970	1,566,816
販売費及び一般管理費	1,195,804	1,305,984
営業利益	14,165	260,831
営業外収益		
受取利息	882	188
受取配当金	1,255	1,025
投資有価証券売却益	—	266
保険解約返戻金	18,141	—
助成金収入	—	12,493
その他	7,928	5,132
営業外収益合計	28,207	19,105
営業外費用		
支払利息	2,391	1,072
投資有価証券売却損	—	738
持分法による投資損失	5,190	26,102
その他	302	57
営業外費用合計	7,884	27,970
経常利益	34,488	251,966
特別利益		
保険解約返戻金	—	6,875
特別利益合計	—	6,875
特別損失		
その他	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	34,488	258,842
法人税等	19,713	95,471
四半期純利益	14,775	163,370
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,775	163,370

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	14,775	163,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168	—
その他の包括利益合計	168	—
四半期包括利益	14,943	163,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,943	163,370
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力 発生日	配当の 原資
2020年 6月8日 取締役会	普通株式	15,471	4	2020年 3月31日	2020年 6月29日	繰越利益 剰余金

(注) 当社は2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。なお、1株当たり配当額は当該株式分割前の実際の金額を記載しております。

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	学習部門	進路部門	情報基盤部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	775,213	598,111	797,865	2,171,190	—	2,171,190
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	775,213	598,111	797,865	2,171,190	—	2,171,190
セグメント利益又は損失 (△)	148,582	△8,127	252,761	393,216	△379,050	14,165

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	393,216
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△379,050
四半期連結損益計算書の営業利益	14,165

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	学習部門	進路部門	情報基盤部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	698,463	666,837	1,421,983	2,787,283	—	2,787,283
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	698,463	666,837	1,421,983	2,787,283	—	2,787,283
セグメント利益又は損失 (△)	140,418	△92,615	495,112	542,915	△282,083	260,831

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	542,915
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△282,083
四半期連結損益計算書の営業利益	260,831

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。